

第1回 東四つ木在宅サービスセンター運営推進会議 報告書

| | | | |
|--------|-----------------------------|-------------------------|----|
| 開催日時 | 平成28年9月16日(金) 16時00分～17時10分 | | |
| 開催場所 | 東四つ木在宅サービスセンター デイルーム | | |
| 参加者 | 区分 | 職名 | 氏名 |
| | 利用者及び家族 | 利用者家族 | 5名 |
| | 家族会代表 | コスモス家族会 | 1名 |
| | 地域住民の代表 | ・自治会 | 2名 |
| | | ・民生委員 | 5名 |
| | 地域包括支援センター | 高齢者総合相談センター 東四つ木 相談員 | 1名 |
| | 知見を有する者 | 奥戸在宅サービスセンター 所長 | 1名 |
| センター職員 | 所長 他 | 6名 | |

(内容)

- 1、スタッフ紹介
- 2、運営推進会議の目的
- 3、法人の紹介(沿革・法人の理念・施設紹介等)
- 4、デイサービス一日の流れ・活動紹介・行事
- 5、認知症デイの取り組み
- 6、家族会及び地域活動(地域交流やボランティア等)
- 7、運営を継続するための危機管理
- 8、事故・ヒヤリハット報告(平成27年度)
- 9、ご意見、要望及び質疑応答
- 10、運営推進会議構成員(選任)について
- 11、次回の予定 平成29年3月頃

ご意見、要望、質疑応答等

| 氏名 | 内容 | 事業所の回答 |
|---------|--|--|
| 家族会 | 災害が起こり施設に泊まることになると布団などは葛飾区に支給を要請し支給してもらえないのか。 | 要請したことはない。 帰宅困難な状況を予測し、簡易的なマットや毛布その他、必要物品を備蓄し、宿泊できる準備をしている。 現在、食糧については、実際は3日分の確保が望ましいところであるが、現在は、保管場所の関係で1日分のみ確保している。今後、3日分確保できるように他法人との協定等検討している。 |
| 介護事業所代表 | 災害時、すぐに帰宅できない方の連絡方法はどのように対応するのか 職員体制は大丈夫か | 災害時等緊急時に使用する家族などの連絡先を記入したカードを作成している。施設内から近隣に避難所が開設した時点でご本人様はカードを持参し、引き継ぐシステムの体制を整えている 避難先が要介護者をどこに、どのようにと言う詳細については、今後、避難所を運営する自治会の方たちと協議する必要がある 事業継続計画において通常の50%のスタッフで出来る業務、30%のスタッフで出来る業務の優先順位をマニュアルに示している。 |
| 利用者家族 | 震災の際にどこに避難したらよいかわからない。 特に地域住民の要介護の人 もセンターに避難してよいと聞いて少しほっとした。 | 葛飾区の防災マップに各地域の避難所が示してある。また、一時避難であればセンターを利用していただいても良い。また、質問者のようなご家庭では特に近隣の方と顔の見える関係作りをし、助け合えると良いと思われる。 また、災害時には日曜日も開けて事業再開を計画している スタッフは自動参集のシステムで確保できる体制をとる。 |